

### Ⅲ フォローアップ事業実績

1 帰国研修員巡回指導

巡回指導は、帰国研修員に対するフォローアップ事業の一環として、主として現在継続している集団コースに参加した帰国研修員の所属機関及び関係機関を訪問し、現地での技術指導を行うとともにわが国で実施した研修の効果を測定し、また当該研修分野に係る当該国の技術的問題点及びニーズを把握することにより、今後の研修員受入事業並びにフォローアップ事業の向上改善を目的とする。

(1) 昭和54年度帰国研修員巡回指導実施実績

チーム名	派遣期間	関係省庁	対象コース	国数	訪問国名	人数	指導員氏名	備考
(1) 結核対策	54. 9. 6 ~ 9. 21	厚生省	結核対策 結核対策上級 結核対策細菌技術者指導	3	フィリピン タイ インドネシア	4名	○(財)結核予防会結核研究所副所長 工藤 祐 是 ○(財)結核予防会結核研究所事務長 金 澤 進一郎 ○厚生省大臣官房国際課国際機関係長 鈴木 護 ○国際協力事業団研修事業部研修第二課職員 大 島 義 也	
(2) 木材工業機械	54. 10. 15 ~ 10. 29	通産省	木材工業機械	3	インドネシア シンガポール マレーシア	3名	○名古屋大学農学部教授 福 井 尚 ○愛知県工業指導所産業工業部長 片 岡 辰五郎 ○国際協力事業団名古屋国際研修センター研修課職員 海 保 誠 治	木工機械 ガイドブック 40部
(3) 日墨交流計画	54. 10. 17 ~ 10. 29 # ~ 11. 6	外務省 通産省 JICA	日墨コース	4	メキシコ ブラジル チリ	4名	○外務省経済協力局技術協力第一課受入班 小 山 和 久	

チーム名	派遣期間	関係省庁	対象コース	国数	訪問国名	人数	指導員氏名	備考
					ペルー		○通商産業省通商政策局経済協力部 技術協力課第三係長 吉田良晴 ○(財)海外技術者研修協会研修課 長代理 田村義郎 ○国際協力事業団研修事業部研修第 一課職員 石塚 競	
(4) 中小企業対策	54.11.21～12.6	通産省	中小企業対策	3	タイ フィリピン マレーシア	2名	○大阪府立経済研究所長 山本 順一 ○国際協力事業団大阪国際研修セン ター研修課職員 日野卓人	
(5) テレビ放送技 術	54.10.29～11.17	郵政省	テレビ放送管理 放送幹部セミナー テレビ放送技術 中近東テレビ放送管理	3	ケニア ガーナ アラブ首長国連邦	3名	○郵政省大臣官房国際協力課第二国 際係長 河合達司 ○日本放送協会人事本部中央研修所 庶務部主査 谷本英輔 ○国際協力事業団研修事業部研修第 二課職員 三好 誠一	カメラ 3台 他
(6) 漁業協同組合	54.11.22～12.6	農林 水産省	漁業協同組合 沿岸漁業普及	2	ケニア 象牙海岸	2名	○(財)海外漁業協力財団漁業専門 家 三宅康松	

チーム名	派遣期間	関係省庁	対象コース	国数	訪問国名	人数	指導員氏名	備考
							○国際協力事業団神奈川国際水産研修センター研修室職員 千賀和雄	
(7) 鉄道車輛	54. 11. 27 ~ 12. 12	運輸省	鉄道車輛 鉄道線路保守改良	3	エジプト スーダン タイ	3名	○運輸省鉄道監督局車輛工業課技官 陸路栄一 ○日本国有鉄道工作局補佐 北村治彦 ○国際協力事業団研修事業部研修第一課職員 木下武久	書籍 40部
(8) 矯正保護	55. 1. 21 ~ 2. 6	法務省	矯正保護 刑事司法行政 犯罪防止(上級)	3	インド スリランカ バングラデシュ	2名	○法務省アジア極東犯罪防止研修所教官 大山勝典 ○法務省アジア極東犯罪防止研修所教官 松本勝	教材 1,400部
(9) 婦人関係行政	55. 2. 17 ~ 2. 29	労働省	婦人関係行政セミナー	2	タイ シンガポール	2名	○労働省婦人少年局婦人課長 鈴木栄子 ○労働省婦人少年局庶務課 国際関係担当官 杉田美恵子	
(10) 農業普及	55. 3. 3 ~ 3. 18	農林水産省	農業普及	3	インドネシア マレーシア ネパール	2名	○農林水産省農蚕園芸局普及部普及教官 課普及指導官 藤井文信 ○全国農業改良普及協会編集出版部 中崎正人	書籍 170部

テーマ名	派遣期間	関係省庁	対象コース	国数	訪問国名	人数	指導員氏名	備考
(1) 上水道施設	55. 3. 15 ~ 3. 28	厚生省	上水道施設	3	イラク トルコ エジプト	2名	○厚生省水道環境部水道整備課厚生技官 八木 美 雄 ○日本水道協会工務部技術課技官 富岡 透	
(2) 都市計画	55. 3. 24 ~ 4. 6	建設省	都市計画	2	ブラジル ペルー	2名	○建設省都市局都市総務課課長補佐 村 瀬 興 一 ○建設省都市局都市交通 調査室課長補佐 村 橋 正 武	

(2) 昭和45～53年度帰国研修員巡回指導実施実績

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関係省庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
(1) 昭和45年度	(1) アジア農業班	S 46 3/3～3/23	農林省	家畜衛生コース 林業林産コース	3	マレーシア インドネシア フィリピン	3名
(2) 昭和46年度	(1) アジア中小工業班	S 47 1/12～2/3	通産省	窯業コース 鋳造コース 鍍金コース	5	マレーシア インドネシア フィリピン タイ シンガポール	5名
	(2) アジア電力班	S 46 12/5～12/28	通産省	水力発電コース 火力発電コース	4	マレーシア インドネシア フィリピン タイ	2名
	(3) 中南米電気通信班	S 47 2/1～2/28	郵政省	マイクロウェーブコース 搬送電話コース 電話線路コース 電話交換コース 短波無線コース テレックス通信コース 衛星通信コース 国際電信電話コース	7	メキシコ ペルー アルゼンチン ブラジル ボリビア コロンビア パラグアイ	3名
(3) 昭和47年度	(1) 中近東職訓機械班	S 47 8/8～8/28	労働省	職訓指導員機械コース	5	タイ インド イラン トルコ エジプト	2名
	(2) アジア職訓木工班	S 47 8/8～8/28	労働省	職訓指導員木工コース	4	マレーシア シンガポール	2名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(3) アジア職訓電気班	S 47. 8 / 8 ~ 8 / 28	労働省	職訓指導員電気コース	4	フィリピン タイ インドネシア フィリピン	2 名
	(4) アジア陸運班	S 47. 11 / 12 ~ 12 / 1	運輸省	自動車整備コース 鉄道車輛コース	4	中華民国 マレーシア フィリピン	3 名
	(5) アジア港湾班	S 47. 11 / 12 ~ 12 / 1	運輸省	港湾セミナー 港湾工学コース	4	ビルマ インドネシア シンガポール タイ スリランカ	3 名
(4) 昭和48年度	(1) アジア中近東 地震工学班	S 48. 9 / 11 ~ 10 / 5	建設省	地震工学コース	3	イラン インド トルコ	3 名
	(2) 東南アジア 測量工学班	S 48. 11 / 14 ~ 12 / 7	建設省	測量技術コース	4	マレーシア インドネシア フィリピン タイ	3 名
	(3) 中南米がん対策班	S 48. 11 / 27 ~ 12 / 23	厚生省	がん対策コース	4	ベトナム ブラジル アルゼンチン コロンビア	3 名
	(4) 東南アジア農業班	S 49. 2 / 26 ~ 3 / 21	農林省	稲作普及コース 農機具利用コース やさい普及コース 土地改良コース	4	ラオス インドネシア タイ フィリピン	3 名

年 度	チ ャ ー ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(6) アジア結核対策班	S 49 2 / 26 ~ 3 / 21	厚生省	結核対策コース 結核外科コース	4	ベトナム インドネシア フィリピン タイ	3名
(5) 昭和49年度	(1) 中近東TV放送班	S 49 11 / 11 ~ 12 / 1	郵政省	TV技術コース TV教育番組コース TV放送管理コース	3	イラン トルコ パングラデシュ	3名
	(2) アジア沿岸 鉱物・地下水開発班	S 50 2 / 23 ~ 3 / 18	通産省	沿岸鉱物資源コース 地下水開発コース	3	マレーシア インドネシア タイ	3名
	(3) アジアプラスチック 工 学 班	S 50 2 / 22 ~ 3 / 15	通産省	プラスチック工学コース	3	タイ フィリピン シンガポール	3名
	(4) アジア沿岸漁業 水産研究班	S 50 2 / 25 ~ 3 / 17	農林省	沿岸漁業コース 水産研究コース	4	スリランカ マレーシア フィリピン シンガポール	4名
(6) 昭和50年度	(1) アジア犯罪防止班	S 50 12 / 1 ~ 12 / 21	法務省	刑事司法行政 犯罪防止コース 犯罪防止セミナー	3	マレーシア スリランカ インド	3名
	(2) アジア麻薬取締班	S 50 12 / 3 ~ 12 / 24	警察庁	麻薬取締セミナー	4	韓国 シンガポール インドネシア	3名
	(3) アジア機械金属班	S 51. 1 / 18 ~ 2 / 7	通産省	金属加工 鋳造 金属表面処理 溶接	3	フィリピン インドネシア タイ	3名



年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(4) ア ジ ア 中 近 東 道 路 橋 梁 工 学 班	S 51. 2 / 14 ~ 2 / 19	建 設 省	ハ イ ウ ェ ー セ ミ ナ ー 橋 梁 工 学	3	タ イ イ ン ド イ ラ ン	3 名
	(5) 南 米 経 済 開 発 班	S 51. 2 / 25 ~ 3 / 14	経 企 庁	経 済 開 発 セ ミ ナ ー	3	ベ ル ー ア ルゼンチン ブ ラ ジ ル	3 名
	(6) ア ジ ア 租 税 班	S 51. 3 / 16 ~ 4 / 2	大 蔵 省	租 税 セ ミ ナ ー 直 接 税 間 接 税	4	フ イ リ ピ ン マ レ イ シ ア シ ン ガ ポ ー ル 韓 国	4 名
(7) 昭 和 51 年 度	(1) ア ジ ア 鉄 道 信 号 電 化 高 速 運 転 班	S 51. 10 / 13 ~ 10 / 29	運 輸 省	鉄 道 信 号 鉄 道 電 化 高 速 運 転	3	タ イ イ ン ド 韓 国	2 名
	(2) 中 近 東 ア フ リ カ 上 級 技 能 者 訓 練 班	S 51. 11 / 18 ~ 12 / 3	労 働 省	上 級 技 能 者 訓 練	3	エ チ オ ピ ア エ ジ プ ト ス リ ラ ン カ	3 名
	(3) ア ジ ア 国 家 行 政 地 方 行 政 班	S 51. 11 / 24 ~ 12 / 10	自 治 省	国 家 行 政 地 方 行 政	3	タ イ ネ パ ー ル マ レ イ シ ア	3 名
	(4) ア ジ ア 中 近 東 工 業 標 準 化 班	S 51. 12 / 4 ~ 12 / 19	通 産 省	工 業 標 準 化	3	フ イ リ ピ ン パ キ ス タ ン エ ジ プ ト	3 名
	(5) 中 近 東 電 気 通 信 班	S 52. 1 / 27 ~ 2 / 13	郵 政 省	電 気 通 信 幹 部 セ ミ ナ ー マ イ ク ロ ウ ェ ー プ 搬 送 電 話 電 話 線 路 電 話 交 換	3	イ ラ ク イ ラ ン ト ル コ	3 名
	(6) 南 西 ア ジ ア 調 査 班	S 52. 3 / 5 ~ 3 / 23	J I C A	-	3	バ ン グ ラ デ ィ シ ュ パ キ ス タ ン	2 名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
(8) 昭和52年度	(1) 日墨交流計画調査班	S 52. 7 / 13 ~ 7 / 31	J I C A	日 墨 コ ー ス	3	アフガニスタン メキシコ コスタリカ エルサルバドル	3 名
	(2) アジア税関行政班	S 52. 8 / 22 ~ 9 / 6	大 蔵 省	税 関 行 政	2	韓 国 シンガポール	3 名
	(3) アフリカ郵政幹部班	S 52. 9 / 5 ~ 9 / 26	郵 政 省	郵 政 幹 部 セ ミ ナ ー 電 気 通 信 幹 部 セ ミ ナ ー	3	エジプト ケニア ガ ー ナ	3 名
	(4) アジア職業訓練指導員養成班	S 52. 11 / 6 ~ 11 / 25	労 働 省	職 業 訓 練 指 導 員 養 成	4	シンリ エジプト シンガポール	3 名
	(5) 中近東ガン対策 早期胃ガン診断班	S 52. 11 / 22 ~ 12 / 9	厚 生 省	ガ ン 対 策 早 期 胃 ガ ン 診 断	3	フィリピン インドネシア エジプト	3 名
	(6) アジア水路測量班	S 52. 11 / 30 ~ 12 / 15	運 輸 省	水 路 測 量 海 洋 物 理 調 査 航 路 標 識	2	フィリピン タ イ	2 名
	(7) 南米中小工業開発班	S 52. 12 / 9 ~ 12 / 28	通 産 省	中 小 工 業 開 発 セ ミ ナ ー	3	ペル パラグアイ ブラジル	2 名
	(8) 南米水力火力班	S 53. 1 / 25 ~ 2 / 13	通 産 省	水 力 ・ 火 力 配 電 技 術 電 気 事 業 経 営	3	コロンビア アルゼンチン ブラジル	3 名
	(9) アジア農業機械整備班	S 53. 2 / 7 ~ 2 / 22	農 林 省	農 業 機 械 整 備 粃 処 理 精 米 加 工	3	フィリピン インドネシア マレーシア	3 名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(10) 中近東電子工学班	S 53. 2 / 27 ~ 3 / 16	通 産 省	電 子 工 学	3	イ ラ ン ヨ ル ダ ン フ ィ リ ピ ン	2 名
	(11) アジア野菜生産班	S 53. 3 / 1 ~ 3 / 16	農 林 省	野 菜 生 産 稲 作 普 及	3	ア フ ガ ニ ス タ ン ビ ル マ ス リ ラ ン カ	2 名
	(12) アジア水質汚濁下水道班	S 53. 3 / 9 ~ 3 / 24	建 設 省	水 質 汚 濁 下 水 道	3	韓 国 フ ィ リ ピ ン イ ン ド ネ シ ア	2 名
(9) 昭和53年度	(1) 電 気 通 信 班	S 53. 8 / 7 ~ 8 / 24	郵 政 省	衛星通信技術(I)コース 衛星通信技術(II)コース 国際テレックス通信コース 電話交換技術コース 国際電信電話業務コース マイクロウェーブ技術(I)コース マイクロウェーブ技術(II)コース 搬送電話技術コース 電話線路技術コース 電話網計画設計コース 国際電話交換技術コース 中南米電気通信幹部セミナー	3	メ キ シ コ ホ ン デ ュ ラ ス グ ア テ マ ラ	4 名
	(2) 沿 岸 鉱 物 資 源 班	S 53. 8 / 20 ~ 9 / 6	通 産 省	沿 岸 鉱 物 資 源 探 査 コ ー ス	3	イ ン ド バ ン グ ラ デ シ ュ ビ ル マ	3 名
	(3) 貿 易 振 興 班	S 53. 8 / 22 ~ 9 / 9	通 産 省	貿 易 振 興 セ ミ ナ ー	3	ベ ル ー ブ ラ ジ ル ベ ネ ズ エ ラ	2 名
	(4) 消 防 行 政 班	S 53. 9 / 10 ~ 9 / 21	自 治 省	消 防 行 政 コ ー ス	2	マ レ ー シ ア シ ン ガ ポ ー ル	3 名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(5) 職 業 訓 練 班	S 53. 9 / 21 ~ 10 / 7	労 働 省	職 業 訓 練 セ ミ ナ ー 監 督 者 訓 練 セ ミ ナ ー	3	タ イ マ レ ー シ ア シ ン ガ ポ ー ル	3 名
	(6) 観 光 班	S 53. 10 / 3 ~ 10 / 19	運 輸 省	観 光 セ ミ ナ ー	3	タ イ ス ー ダ ン ト ル コ	2 名
	(7) 織 布 技 術 班	S 53. 11 / 20 ~ 12 / 8	通 産 省	織 布 技 術 コ ー ス	3	バ ン グ ラ デ シ ュ イ ラ ク ト ル コ	3 名
	(8) 家 族 計 画 班	S 53. 11 / 21 ~ 12 / 2	厚 生 省	家 族 計 画 指 導 者 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 広 報 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 医 学 保 健 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 組 織 活 動 セ ミ ナ ー	3	ス リ ラ ン カ ネ パ ー ル バ ン グ ラ デ シ ュ	3 名
	(9) 稲 病 害 虫 防 除 班	S 54. 1 / 10 ~ 1 / 25	農 林 水 産 省	稲 病 害 虫 防 除 コ ー ス	3	タ イ イ ン ド ネ シ ア フ ィ リ ピ ン	3 名
	(10) 地 熱 エ ネ ル ギ ー 班	S 54. 1 / 21 ~ 2 / 7	文 部 省	地 熱 エ ネ ル ギ ー コ ー ス	3	エ ジ プ ト ト ル コ フ ィ リ ピ ン	3 名
	(11) 河 川 工 学 班	S 54. 1 / 26 ~ 2 / 10	建 設 省	河 川 工 学 コ ー ス	3	フ ィ リ ピ ン マ レ ー シ ア イ ン ド ネ シ ア	2 名
	(12) 船 舶 技 術 班	S 54. 2 / 14 ~ 3 / 1	運 輸 省	船 舶 技 術 コ ー ス	3	ビ ル マ シ ン ガ ポ ー ル イ ン ド ネ シ ア	3 名

2 文献供与事業

(1) 年度別文献供与部数実績表

文献名	年度	50	51	52	53	54	対象研修分野
ルック・ジャパン (月刊 12回)		1,000	700	1,200	1,200	1,200	建設、重工業、鉱業、 郵政、運輸、厚生等 の管理行政部門
ファームینگジャパン (隔月刊 6回)		540	450	800	800	1,100	農業、林業、畜産、 水産の各分野
ジャパンエコノミック レビュー (月刊 12回)		140	200	500	550	1,200	経済、貿易、租税関 係の分野
テクノクラート (月刊 12回)		615	500	1,000	1,200	1,100	建設、電軽工業、化 学、鉱業、公益事業、 統計の各分野
合計		2,295	1,850	3,500	3,750	4,600	

(2) 技術図書送付実績

分野	コース名	図書名	備考
医療・厚生 ・福祉	家族計画指導者	Fertility & Family Planning in Japan	① 51年度～53年 度コース ② 220名
	" 医学保健	Philosophical Background for Humanistic F. P.	
	" 広報教育	Report on the Study Team	
	" 組織活動	Basic Reading on Population and F. P. in Japan	
郵便・通信 ・放送	マイクロウェーブ I	Microwave Communication System Design and New Equipment	① 52年度～53年 度コース ② 288名
	" II	"	
	電話交換 I	"	
	" II	"	
	電話網計画設計	"	
建設・土木	電話線路	"	① 52年度～53年 コース ② 66名
	搬送電話	"	
	住宅建設	Japan's Construction Equipment	
公益事業	建設機械	"	① 52年度～53年 度コース ② 100名
	建設施工	"	
	電気事業経営	Advanced Electric Power Technology in Japan	
	配電技術	Electric Power Industry in Japan	
鉱業	火力発電	"	① 52年度～53年度 コース② 34名
	水力発電	"	
	沿岸鉱物資源調査	Holmes Principles of Physical Geology	
軽工業	計量標準	Measurement System Application & Design	① 52年度～53年度 コース② 24名
農林・水産	農薬利用	Review of Plant Protection Research ( Vol. 1—11 )	① 48年度～54年 コース ② 88名
	桶病害虫		
運輸・交通	船舶技術	Kogatasen Sekkeizushuu Sentai Kakubu Meishoozu Kogata Koosemo Sekkeito Seizu Funeno Shurui Funeno Koozoo	① 53年度コース ② 1名

## IV 日本語・オリエンテーション実績

日本語教育は、研修上とくに日本語の修得を必要とする集団および個別研修コースの研修員を対象とする集中講習、および研修員全体を対象として日常生活の円滑化とわが国に対する理解を深めることを目的とする一般講習を東京国際ナショナル・センターをはじめ各国際研修センターで実施している。

また研修の一環として、技術研修に先立ち1週間のプログラムで、わが国の一般事情、研修および日常生活上の心得等について、主として、集団研修コースの研修員を対象として、オリエンテーションを東京国際ナショナルセンター、八王子国際研修センター、名古屋国際研修センターで実施している。

セ ン タ ー	日 本 語				オリエンテーション	
	集 中 講 習		一 般 講 習		実 施 回 数	参 加 人 数
	コ ー ス 数	参 加 人 数	ク ラ ス 数	参 加 人 数		
T I C	65	221	23	145	34	1,527
八 王 子	5	41	12	105	10	161
大 阪	8	54	11	72	—	—
名 古 屋	11	105	6	64	8	141
内 原	6	69	—	—	—	—
神 奈 川	6	72	1	15	—	—
兵 庫	5	42	6	48	—	—
合 計	106	604	59	449	52	1,829

1. 日本語

(1) 東京国際センター

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	メキシコ包装技術	2	(1 / 22) 4 / 2 ~ 5 / 11
2	メキシコ貿易振興	2	(1 / 30) 4 / 2 ~ 5 / 11
3	マリ鉱山	1	(1 / 22) 4 / 2 ~ 4 / 13
4	メキシコ水産技術	8	(2 / 19) 4 / 2 ~ 6 / 1
5	フィリピン鑄造	1	(2 / 19) 4 / 2 ~ 6 / 1
6	メキシコ淡水魚養殖	1	(2 / 19) 4 / 2 ~ 4 / 18
7	メキシコ音波探知	3	(2 / 19) 4 / 2 ~ 5 / 31
8	シンガポール職業訓練	4	(2 / 19) 4 / 2 ~ 5 / 18
7	メキシコ音波探知(特設)	1	(2 / 26) 4 / 2 ~ 5 / 31
8	シンガポール職業訓練(特設)	2	(2 / 26) 4 / 2 ~ 4 / 18
9	インドネシア養蚕	3	(3 / 12) 4 / 2 ~ 5 / 11
9	ケニア養蚕	1	(3 / 12) 4 / 2 ~ 5 / 11
10	PNG航空機整備技術	3	4 / 2 ~ 6 / 29
11	モルディブTV放送技術	1	4 / 2 ~ 6 / 29
12	モルディブ空港自動車整備	2	4 / 2 ~ 6 / 29
13	タイ細菌学	1	4 / 2 ~ 5 / 4
14	メキシコ外科	1	4 / 2 ~ 4 / 27
15	モルディブTV放送技術	1	4 / 16 ~ 6 / 29
16	インドネシア海岸工学	1	4 / 16 ~ 6 / 1
17	リベリア家畜衛生	2	4 / 16 ~ 5 / 31
18	スリランカ漁撈	2	4 / 16 ~ 5 / 30
19	家畜人工授精	5	5 / 7 ~ 7 / 6
20	沿岸鉱物資源 A	7	5 / 7 ~ 5 / 25
21	フィリピン整形外科	1	5 / 7 ~ 5 / 25
20	沿岸鉱物資源 B	2	5 / 7 ~ 5 / 25
22	タイ医療電子工学	1	6 / 21 ~ 7 / 31
23	テレビ放送技術 A	8	7 / 16 ~ 7 / 27
23	テレビ放送技術 B	8	7 / 16 ~ 7 / 27

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
24	ラジオ放送技術	8	7 / 16 ~ 7 / 27
25	マレーシアMARAジョホールバル職訓	2	7 / 16 ~ 8 / 31
26	教育テレビ番組 A	6	7 / 30 ~ 8 / 10
26	教育テレビ番組 B	5	7 / 30 ~ 8 / 10
27	地下水開発 A	5	7 / 30 ~ 8 / 17
27	地下水開発 B	6	7 / 30 ~ 8 / 17
28	インドネシア建材開発	2	8 / 20 ~ 9 / 28
29	チリ体育運動生理学	1	9 / 10 ~ 9 / 28
30	シンガポール脳病対策	1	9 / 10 ~ 10 / 12
31	パラグアイ皮膚病対策	1	9 / 10 ~ 10 / 12
32	ウルグアイ野菜育種	1	9 / 10 ~ 10 / 12
33	ザイール鉱山	2	9 / 17 ~ 10 / 5
34	インドネシア職訓カウンターパート	2	9 / 25 ~ 10 / 26
35	スラベンユ、インドネシア職訓	6	9 / 17 ~ 10 / 26
36	日墨専門看護 A	4	10 / 8 ~ 12 / 21
36	日墨専門看護 B	5	10 / 8 ~ 12 / 21
37	タイ漁業海洋学	1	11 / 5 ~ 12 / 21
38	開発エコノミスト	6	10 / 15 ~ 11 / 30
39	パラグアイ農林総合プロジェクト	2	10 / 15 ~ 11 / 30
40	船舶技術 A	7	10 / 15 ~ 12 / 21
40	船舶技術 B	7	10 / 15 ~ 12 / 21
41	タイ地域保健	2	11 / 5 ~ 12 / 7
42	バングラデシュフィルム現像技術	1	11 / 5 ~ 12 / 27
43	ザイール橋梁	1	11 / 5 ~ 12 / 1
44	日墨品質管理基準 A	4	12 / 3 ~ 2 / 22
45	日墨漁撈	1	12 / 3 ~ 3 / 14
46	日墨外国貿易	1	12 / 3 ~ 2 / 8
47	パラグアイ育苗	1	12 / 3 ~ 3 / 14
44	日墨品質管理基準 B	8	12 / 3 ~ 2 / 22
48	日墨品質管理基準特設	1	12 / 17 ~ 3 / 28



	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
49	トルコ水産教育	2	12 / 3 ~ 2 / 1
50	インドネシア看護学	1	12 / 5 ~ 12 / 27
51	パラグアイ造林	1	12 / 4 ~ 3 / 14
52	エチオピア・カメラ撮影技術	1	1 / 7 ~ 3 / 31 (4 / 15)
53	メキシコ沿岸漁業	2	1 / 7 ~ 3 / 31 (4 / 25)
54	サウジアラビア職業訓練	3	1 / 21 ~ 3 / 31 (4 / 4)
55	専門看護	5	2 / 12 ~ 3 / 31 (4 / 30)
56	日墨水産技術	8	2 / 18 ~ 3 / 31 (5 / 30)
57	メキシコ音波探知	4	2 / 18 ~ 3 / 31 (5 / 30)
58	図書館学	1	2 / 12 ~ 3 / 31 (4 / 30)
59	パラグアイ職業訓練センター	4	1 / 21 ~ 3 / 31
60	シンガポール職業訓練	4	2 / 25 ~ 3 / 31
61	ブラジル柑橋	1	3 / 3 ~ 3 / 31 (4 / 11)
62	ケニア養蚕	2	3 / 17 ~ 3 / 31 (5 / 16)
63	スリランカ包装技術	2	3 / 17 ~ 3 / 31 (4 / 15)
64	メキシコ石油化学	3	3 / 17 ~ 3 / 31 (4 / 16)
65	メキシコ沿岸漁業普及	2	3 / 17 ~ 3 / 31 (7 / 11)
	合 計	221	

## (2) 八王子国際研修センター

1コース 41名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	職業訓練指導者養成(5科)	41	54. 5 / 21 ~ 8 / 3

## (3) 大阪国際研修センター

8コース 54名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	酵 素 工 学	5	54. 4 / 2 ~ 4 / 13
2	上 級 技 能 者 訓 練	8	4 / 17 ~ 5 / 18
3	貨 弊 お よ び 融 章	4	4 / 17 ~ 5 / 18
4	電 子 工 学	6	4 / 24 ~ 5 / 31
5	金 型 工 作	6	7 / 3 ~ 7 / 31
6	農 業 機 械 整 備	11	7 / 3 ~ 7 / 31
7	プ ラ ス チ ッ ク	7	10 / 2 ~ 10 / 31
8	医 療 放 射 線 技 術	7	12 / 4 ~ 55. 1 / 25
	合 計	54	

## (4) 名古屋国際研修センター

11コース 105名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	粘 薬 着 彩	7	54. 4 / 11 ~ 5 / 4
2	金 属 表 面 処 理	8	4 / 18 ~ 5 / 18
3	養 鶏	8	5 / 7 ~ 6 / 8
4	溶 接 技 術	12	7 / 3 ~ 8 / 28
5	織 布 技 術	12	7 / 31 ~ 9 / 14
6	タ イ ル 製 造 技 術	8	7 / 31 ~ 9 / 19
7	鋳 造 技 術	10	7 / 31 ~ 9 / 13
8	工 業 開 発 計 画 実 務	14	8 / 29 ~ 9 / 28
9	耐 火 物 製 造	8	10 / 2 ~ 11 / 1
10	窯 業 技 術	8	10 / 2 ~ 11 / 16
11	金 属 加 工	10	10 / 2 ~ 11 / 16
	合 計	105	

## (5) 内原国際農業研修センター

6コース 69名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	53 年 度 稲 栽 培	11	54. 4 / 2 ~ 4 / 11
2	53 年 度 稲 作 機 械 化	11	4 / 2 ~ 4 / 11
3	灌 漑 排 水	11	55. 2 / 25 ~ 3 / 8
4	野 菜 生 産	10	2 / 25 ~ 3 / 8
5	稲 栽 培	13	3 / 19 ~ 3 / 30
6	稲 作 機 械 化	13	3 / 19 ~ 3 / 30
	合 計	69	

(6) 神奈川国際水産研修センター

6コース 62名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	53年度沿岸漁業普及Ⅱ	15	54. 4 / 1 ~ 6 / 20
2	53年度沿岸経営養殖	7	4 / 1 ~ 6 / 20
3	沿岸漁業普及Ⅰ	18	7 / 16 ~ 12 / 20
4	漁業協同組合	9	7 / 16 ~ 12 / 20
5	沿岸漁業普及Ⅱ	13	55. 1 / 20 ~ 3 / 31
6	沿岸経営養殖	10	1 / 20 ~ 3 / 31
	合 計	62	

(7) 兵庫インターナショナルセンター

5コース 42名

	研 修 コ ー ス	参加人数	実 施 期 間
1	種 病 害 虫 防 除	10	54. 6 / 13 ~ 6 / 25
2	貿 易 実 践 指 導 者	12	9 / 5 ~ 9 / 14
3	医 科 学 技 術	6	9 / 10 ~ 9 / 22
4	農 業 利 用	6	55. 1 / 24 ~ 2 / 1
5	食 品 加 工	8	1 / 24 ~ 2 / 15
	合 計	42	

2. オリエンテーション

(1) 東京インターナショナルセンター

オリエンテーション、プログラム

曜 日	時 間	科 目	講 師
月	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00	JICA 概要説明 よりよい滞日生活のために	TIC 業務課 国際交流サービス協会専務理事・横山 隼三、同協会国際部長・吉田 弘
火	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 19 : 00	日本の言葉 日本の人文地理 生花紹介	早稲田大学講師・川本 喬、元上智大学講師・森 清 青山学院大学経済学部長・西岡久雄、同大学経済学部教授・小林 望 草月流師範会理事・前田 鶴子、他 2 名
水	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 17 : 20	日本の経済 日本の行政機構 日本紹介映画	経団連国際経済部長・三好正也、経団連国際経済部・市川博也、経団連秘書室・中村 芳夫、経団連調査役・藤原 啓博・影山 洋一 拓殖大学講師・関口 泰、東海大学学生部長・山口 房雄 映写技師・志水 淑子
木	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 17 : 20	日本の文化史 日本の教育 TIC 概要説明	大正大学助教授・佐藤良純、武蔵女子大学教授・花山 勝友、都立大学文学部助手・坂本美樹雄、早稲田大学教授・池田百合子 大正大学講師・星野英紀 東京工業大学助教授・原 芳男 TIC 業務課
金	9 : 00 ~ 13 : 00	都内見学 ( 明治神宮・尾崎記念公園・皇居 )	

実施回	実施期間	参加人数	参加研修コース	実施回	実施期間	参加人数	参加研修コース
1	4 / 5 ~ 4 / 13	85	矯正保護、地方行政、電話交換Ⅰ、建設機械、上級技能者訓練、個別	19	9 / 10 ~ 9 / 14	101	雇用開発セミナー、国家行政、森林造成技術者、建設施行、刑事司法行政、海運経営実務、水質汚濁下水道、インダストリアルデザイン、個別
2	4 / 16 ~ 4 / 20	12	電子工学、個別	20	9 / 17 ~ 9 / 21	72	麻薬犯罪取締セミナー、地下鉄道工学、ハイウェイ・セミナー、オフセット印刷、マイクロウェーブⅡ、個別
3	4 / 23 ~ 4 / 27	13	農業普及、個別	21	9 / 25 ~ 9 / 29	66	統計、プラスチック、コンピューター技術、輸出入食品検査技術、個別
4	4 / 30 ~ 5 / 4	11	家畜人工受精、沿海鉱物資源、個別	22	10 / 1 ~ 10 / 5	60	都市計画、税関行政セミナー、洪水防御、貿易振興セミナーB、日墨専門看護、個別
5	5 / 7 ~ 5 / 11	69	水産研究、水路測量、港湾工学、搬送電話、衛星通信(レギュラー)、国際電信電話業務、農業機械整備、個別	23	10 / 8 ~ 10 / 13	83	婦人関係行政セミナー、船舶技術、消防行政、労働安全衛生行政セミナー、気象学、開発エコノミスト一般、電気事業経営、防災技術セミナー、中近東電力、個別
6	5 / 14 ~ 5 / 18	64	観光セミナーA、監督者訓練セミナー、廃棄物処理、水力発電、火力発電、貿易振興セミナーA、個別	24	10 / 15 ~ 10 / 19	29	観光セミナーB、空港セミナー、鉄道電化高速運転、個別
7	5 / 21 ~ 5 / 25	16	上水道施設	25	10 / 22 ~ 10 / 26	25	住宅建設、船員教育行政、個別
8	5 / 28 ~ 6 / 1	14	稲病虫害防除、個別	26	10 / 29 ~ 11 / 2	86	農業協同組合、港湾セミナー、早期胃ガン診断、借款手続セミナー、結核対策細菌技術者、ガン対策、個別
9	6 / 11 ~ 6 / 15	30	測量技術、電話線路、計量標準、個別	27	11 / 5 ~ 11 / 9	37	海洋物理調査、建設行政、電話網計画設計、個別
10	6 / 18 ~ 6 / 22	48	農業機械整備、鉄道線路保守改良、結核対策、リモートセンシング技術、個別	28	11 / 26 ~ 12 / 1	25	医療放射線技術、個別
11	7 / 2 ~ 7 / 6	28	農地水資源開発、金型工作技術、個別	29	1 / 14 ~ 1 / 19	100	沿岸漁業普及Ⅱ、農業利用、ガラス工学、漁業経営・養殖、食品加工、認証検査制度、国際電話交換、包装技術、中小企業対策、個別
12	7 / 9 ~ 7 / 13	82	沿岸漁業普及Ⅰ、漁業協同組合、鉄道車輛、ラジオ放送技術、テレビ放送技術、マイクロウェーブⅠ、鉱山、個別	30	2 / 4 ~ 2 / 8	46	情報処理(上級)、工業所有権制度、犯罪防止セミナー、個別
13	7 / 23 ~ 7 / 27	29	都市交通セミナー、地下水開発、教育テレビ番組、個別				
14	8 / 6 ~ 8 / 10	20	河川工学、年少労働セミナー、個別				
15	8 / 13 ~ 8 / 17	19	農林水産統計、個別				
16	8 / 20 ~ 8 / 24	48	工業標準化、テレックス通信、衛星通信(アドバンスト)、個別				
17	8 / 27 ~ 8 / 31	39	電話交換、貿易実践指導者、橋梁工学、個別				
18	9 / 3 ~ 9 / 7	77	糠処理精米加工、航路標識、地盤工学、地熱エネルギー、医科学技術、配電技術、個別				

実施回	実施期間	参加人数	参加研修コース
31	2 / 12 ~ 2 / 16	33	灌漑排水、野菜生産、個別
32	2 / 18 ~ 2 / 22	14	鉄道信号、個別
33	3 / 3 ~ 3 / 7	42	総合都市交通、稲作普及、稲作機械、石油化学、個別
34	3 / 10 ~ 3 / 14	4	個別

## (2) 八王子国際研修センター

## オリエンテーション・プログラム

科 目	時 間	講 師
1. JICA・HITC概要説明	5	HITC所長・総務課長・研修課長他
2. 日本事情講義		
(1) 日本の行政機構	2	拓殖大学講師 関口泰
(2) より良い滞日生活のために	2	国際交流サービス協会専務理事 横山純三
(3) 日本の経済	2	経営コンサルタント 古谷勉
(4) 日本の教育	2	東京工業大学助教授 原芳男
(5) 日本の文化史	2	早稲田大学教授 池田百合子
3. 言葉と生活	2	国際交流サービス協会日本語講師 星野和子
4. 日本紹介映画	2	(日本の四季・新幹線の旅・日本のスポーツ他)
5. 都内見学	8	(明治神宮・国会議事堂・皇居他)

実施回	実 施 期 間	参加人数	参 加 研 修 コ ー ス
1	54. 5 / 14 ~ 5 / 18	40	職業訓練指導員養成、テレビ放送管理
2	8 / 20 ~ 8 / 24	12	電波監視
3	8 / 27 ~ 8 / 31	6	労働統計セミナー
4	9 / 10 ~ 9 / 14	27	一般租税セミナー
5	10 / 8 ~ 10 / 12	10	労使関係行政セミナー
6	10 / 15 ~ 10 / 19	14	職業訓練セミナー
7	11 / 22 ~ 11 / 23	9	衛生行政セミナー
8	55. 1 / 11 ~ 1 / 15	7	バス・トラック整備技術
9	1 / 14 ~ 1 / 18	21	開発エコノミスト、中近東テレビ放送管理
10	2 / 20 ~ 2 / 24	15	中近東職業訓練行政セミナー
合 計		161	

## (3) 名古屋国際研修センター

## オリエンテーション・プログラム

科 目	時 間	講 師
JICA・NITC概要説明	1.5	NITC研修課
日 本 社 会	2	東海テレビニュースキャスター 西沢信正
歴 史	2	南山大学外国語学部長 西脇博
教 育	2	名古屋大学教授 潮木守一
経 済	2	愛知大学教授 木村憲二
見 学	各 4	ブラザー工業・トヨタ自工・サッポロビール 三洋電機・名港管理組合・日本陶器

実施回	実 施 期 間	参加人数	参 加 研 修 コ ー ス
1	54. 4 / 11 ~ 4 / 20	15	中小工業開発セミナー
	" ~ 5 / 10	7	袖染着彩
	" ~ 5 / 21	8	金属表面処理
	" ~ 5 / 31	8	養 鶏
2	5 / 8 ~ 5 / 15	11	木材工業
3	7 / 3 ~ 7 / 31	12	溶接技術
4	8 / 1 ~ 8 / 31	30	織布技術、タイル製造技術 鑄造技術
5	9 / 3 ~ 9 / 31	14	工業開発計画実務
6	10 / 2 ~ 11 / 2	8	耐火物製造
7	10 / 2 ~ 11 / 20	18	金属加工、窯業技術
8	55. 2 / 1 ~ 2 / 4	10	電気製鋼技術
合 計		141	

※ オリエンテーションは日本語集中講習の中に日本語講習との関連を考慮しながら配置して実施している。







JICA